

5/20 (日) 13:00~16:30

仙台弁護士会館4Fホール

仙台市青葉区一番町 2-9-18 参加無料・カンパをお願い致します

「新しい市民政治をつくる宮城県民の会」は県政の転換が主要課題です。

それには多くの市民が自由に未来を語り、その実現に向け、政党や市民などが確かな協同をつくるのが大切です。

政治を権力者や政治家任せにせず、主権者がしっかりその役割を果たす政治文化が、ここ宮城県でも成長中です。

当会は、重要な地域課題を、正しく創造的に解決できる政策と運動を議論する「市民政治フォーラム」を継続して開催していきます。

その第一回は、宮城県を「原発ゼロ地域」にする政策と運動の検討です。ぜひご参加ください。

# 「原発ゼロ社会」への道標

第一部 13:00~

「新しい市民政治をつくる宮城県民の会」発足集会

第二部 13:45~

市民政治フォーラム「原発ゼロ社会への道標」

原発ゼロ社会の構築に向けての政策提言と「公論形成」を図る市民シンクタンク・原子力市民委員会は『原発ゼロ社会への道 2017—脱原子力政策実現のために』を発表しました。脱原発が国会論戦の中心課題に浮上する中、状況をひらく理論、政策的な枠組みが提供されました。その核心部分の報告を受けて、意見交換を行います。(同書は当日・会場で特別価格 1,000 円にて斡旋します)

Part.1

原発ゼロ社会をつくる政策と運動 (原子力市民委員会の提案)

報告① 満田夏花氏 (FoE Japan 理事)

報告② 茅野恒秀氏 (信州大学准教授)

— 意見交換 —

Part.2

女川原発再稼働を問う県民投票の実現を

報告③ 多々良 哲氏 (みんなで決める会)

— 意見交換 —

フォーラム協賛 原子力市民委員会

放射能汚染廃棄物「一斉焼却」に反対する県民連絡会

◆主催

新しい市民政治をつくる宮城県民の会

〒980-0803

仙台市青葉区国分町1-8-10 大和ビル 2F

Mail: miyagikenminnokai@gmail.com